

[第866回ゼミ報告] 2023年10月20日号

突如ウクライナへのロシア侵攻・街にロケット飛来のニュース、こちらも突如としてガザ地区からイスラエルへロケット・戦闘の報、悲惨な戦争が続く10月11日のゼミは、柄谷行人『力と交換様式』第2部第3章「絶対王政と宗教改革」を高田の報告で行いました。ゲルマン社会では専制的国家は成立せず、絶対王政でも都市ブルジョアと結びつき、交換様式Cの力が強まった。王の奇蹟として聖なる力で処罰・監視・福祉・救貧を行った。ネーションで国民国家が成立し、近代資本主義に宗教改革の影響が、共通言語・規律・集団労働・労働力商品を作り出した。ここにマックス・ウェーバーの禁欲的プロテスタンティズムに結びつく。マルクスも宗教を無視せず、商品物神・貨幣物神・資本物神への転化を書き、ウェーバーより前にプロテスタンティズムを見出している。15世紀英国では救貧法により規律をもった労働力商品を意図せず生み出した。ここにフーコーは監視社会・国家の生産的力を見る。産業資本による手工業・織物業が村落から特権都市の発展へとエンゲルスが指摘。産業革命はフランスの政治革命・ドイツの哲学革命の並ぶもの。報告者から、『資本論』の恣意的な引用で自説補強に使われ、マルクスの比喩に固執し、真意を損なっていて、生産における労働の視点が見えない、と指摘した。

討論では、介護は家族内労働・家事労働から介護保険で社会化し、ケア労働・共同労働となったが、高齢化で今後大きな負担になってくる。交換様式A・B共に等価交換ではなく、Aは互酬・平等の面があるが、Bは支配・収奪の関係となる。A・B・Cの順番は歴史の発展段階ではないということから、交換様式で歴史を説明できない。包摂の典型として親方制があり、日本では戦前まで長く続いたが、日清戦争・日露戦争期が日本での産業革命期、株式会社・大企業の本格化は戦後になってからとみる。ただし、戦後も休日が月2回や、大将や上・中・下あるいは番頭などの職名が残っていた。

会場参加は小野さん・川口さん・松村さん・山口さん・高田、オンライン参加は後藤さんの6名でした。

* 10月25日(第4週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 890 4478 9555 パスコード: 645289

* 10月25日ゼミでは、斎藤幸平本の第6章の後半をいいます。

* 11月22日からのテキストはレーニン『帝国主義論』です。新刊本は光文社古典新訳文庫、古本は大月国民文庫、岩波文庫などが手に入ります。

***** ゼミ日程 *****

10月25日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

斎藤幸平『ゼロからの『資本論』』第6章 コミュニズム(後半) 報告後藤さん

11月8日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

柄谷行人『力と交換様式』第3部1章 経済学批判 報告小野さん

11月22日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

レーニン『帝国主義論』序文・1生産集積と独占体 報告竹内さん

その後 12/13, 12/27 [アイクルの部屋] 2024/1/10, 1/24

◇第三学科事務局/高田好章: ytakada@kcn.ne.jp 090-8658-3755

HomePage: <http://ysweb.g.dgdg.jp/ytakada/kisoken/> Pass: kiso